

関西光科学研究所(2019年7月31日発行)

メッセージ

『あなたにできることをしなさい。今いる場所で、今あるもので。
テディ・ルーズベルト』

この巻頭言を書く依頼を受けて、さてさてどうしたものか、何を書いたらよいか、と思い「関西研だより」がどこにあるのかと、関西研ホームページを開いた際に目に留まった「ひとこと」です。

私は、7月の頭に播磨に引っ越してきました、当地区の新人です。千葉からの道中、滋賀県で立ち寄ったGSの店員さんから、左側のタイヤ側面に小さなひびが入っているとのこと、これから200km先まで走らないといけないうのだけれど、どのくらい持つか聞いてみたところ、浮かない様子。で、スタンドでは、今月からブリジストンのタイヤ祭りということで、価格交渉の末、即交換してもらいました。千葉では、さほど走らずタイヤのへりも少ないので交換なんか必要ないと思っていましたが、4-5年たつとタイヤも劣化するので、交換が必要になるらしいです。

今は、快適です。

今朝、播磨地区での放射光利用研究について、レクして頂きました。非常に興味深いです。産業界の方々にも利用できるものが幾つかあるのではないかと、播磨地区の研究成果を多くの方々に知ってもらい、産業にも役立つことに繋がればと思います。これから、播磨の皆さんと共に考え、実現に近づけたいと思います。ぜひ、さらに詳しく知りたいと思います。

で、どこにあるんだろう？テディ、「関西研だより」は、..まだ見つかりません。 誰か教えて...

【関西研だより⇒ <https://www.qst.go.jp/site/kansai-topics/2528.html>】

【副所長 杉山 僚】

7月の主な動き

- 7月 2日(火) 第63回KPSIセミナー 今坂光太郎氏(東大生産技術研究所)
- 7月 4日(木) 第11回QST播磨セミナー 藤原孝将氏(高輝度光科学研究センター)
- 7月 7日(日)～10日(水) 第19回SPRING-8夏の学校(播磨地区)
- 7月 8日(月) “レーザー・物質相互作用における非線形応答に関するミニワークショップ”(木津地区)
- 7月 8日(月)～12日(金) 【見学受入】 常州溧阳溧城中心小学、江蘇省海門市東洲国際学校、連雲港市新海実験中学校、江蘇省無錫市師範附属小学校
- 7月13日(土)、14日(日) 【出展】 大阪科学技術館リニューアルオープン記念イベント
- 7月18日(木) 第64回KPSIセミナー 石井順久 主幹研究員(超高速光物性研究グループ)
- 7月24日(水) 【S-cube開催 & 見学受入】ロイ・ローゼンキャンプ学生留学プログラム(オランダ)
- 7月24日(水)、25日(木) 【サイエンスショー】夏休み 2019 宿題・自由研究大作戦!(京都)
- 7月25日(火) 第65回KPSIセミナー Luis Roso所長(サラマンカ大学パルスレーザー研究センター)
- 7月27日(土)、28日(日) 【出展】科学の祭典・全国大会2019(千代田区)
- 7月30日(火) 第12回QST播磨セミナー 小出明広氏(磁性科学研究グループ)

今後の主な予定

- 8月 3日(土) 【見学受入】第16回日本加速器学会年会・施設見学会
- 8月27日(火) 放射光設備利用講習会(兵庫県立工業技術センター)
- 8月30日、31日 SPRING-8シンポジウム2019(岡山大学)
- 10月27日(日) 関西研(木津地区)施設公開

イベント紹介

【開催報告】 Mini-Workshop on Nonlinear Response in Laser-Matter Interaction

7月8日(月)に、CREST「光・電子融合第一原理ソフトウェアの開発と応用」とQ-LEAP(ALICE)「次世代レーザー」が主催する“物質とレーザーの非線形相互作用に関するミニワークショップ”が木津地区にて行われました。

本ワークショップでは、ヨーロッパの理論研究者(Tzvetta Apostolova教授(New Bulgarian大学、ブルガリア)、Thibault Derrien 博士(HiLASE, チェコ))を交え、講演11件が行われ、活発な議論と幅広い情報交換が行われました。午前中には近年注目されている固体からの高次高調波発生に関する理論手法および実験に関するセッション、午後にはLIPPSなどの微細構造形成や高次高調波を利用した加工、自由電子レーザーによる加工現象などについてのセッションが行われました。

高次高調波発生は物質を壊さない範囲での固体電子の非線形応答、レーザー加工は電子励起から原子へのエネルギー移行が主な物理過程であり、一般に別の研究分野とされています。今回のワークショップではレーザーと物質の非線形・非摂動的な相互作用の総合的理解という趣旨から、同じワークショップで議論がなされ、各分野の研究者にとっても刺激のあるものとなりました。



ワークショップ会場の様子



参加者による集合写真

イベント紹介

大阪科学技術館リニューアルオープン記念イベント

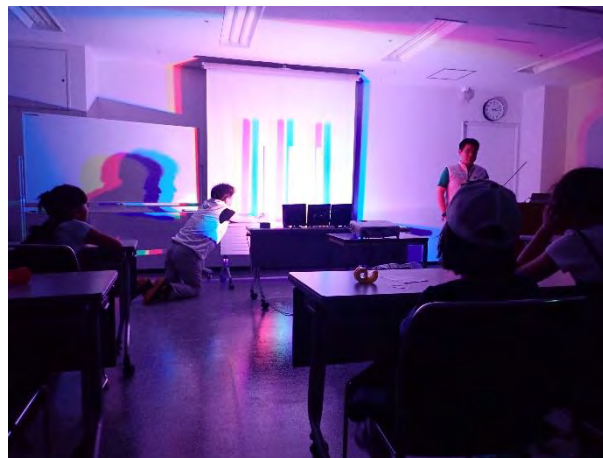
7月13日(土)～7月14日(日)の2日間の日程で、大阪市本町にある大阪科学技術館において、リニューアルオープン記念イベントが開催されました。今年度よりQSTのブースが常設される事もあり、本部広報課、研究企画部(木津、播磨)、庶務課、研究部から展示ブース内の工作イベントや、テクノくん夏祭り2019イベントにて実験ショーを実施しました。

展示ブースのタイトルは「私たちの世界は量子でできている ～不思議の世界へ グー・パー・タッチ!～」。量子や光についての紹介をメインに、HIMAC(Heavy Ion Medical Accelerator in Chiba:千葉にある重イオン医療用加速器)での重粒子線がん治療やJT-60SA(JAERI Tokamak-60 Super Advanced)やITER(国際熱核融合実験炉)での核融合研究開発に関する展示も行っています。

CDを使った簡易分光器や偏光フィルムとセロテープを使った工作、白熱灯・蛍光灯・LEDのスペクトル観察、光の3原色のショーを実施し、来場者の方に楽しんで頂けたと感じました。



HIMACの模型による粒子線がん治療の説明



光の3原色に関する実験ショー



左から:VICs-Beeくん、テクノくん、ふぉんとくん

【量子ビーム科学部門 研究企画部(木津地区) 主幹技術員 岡田 大】

イベント紹介

夏休み2019宿題・自由研究大作戦イベント

7月24日(水)～7月25日(木)の2日間の日程で、京都平安神宮近くのみやこメッセにおいて、夏休み2019宿題・自由研究大作戦イベントが開催されました。関西研は、両日とも10:00～10:40の時間帯において光に関する工作教室を実施するステージプログラムに出展しました。このイベントは昨年まで大阪で開催されていましたが、今年は京都で開催することとなりました。

分光シートを使った分光計の工作と、既に鉄板ネタとなっている偏光フィルムとセロテープを使った工作を実施しました。分光計の工作では、身の回りにある光や色の混ざり方(スペクトル)について紹介し、様々な光源を見てみましょうと夏休みの宿題を出してきました。

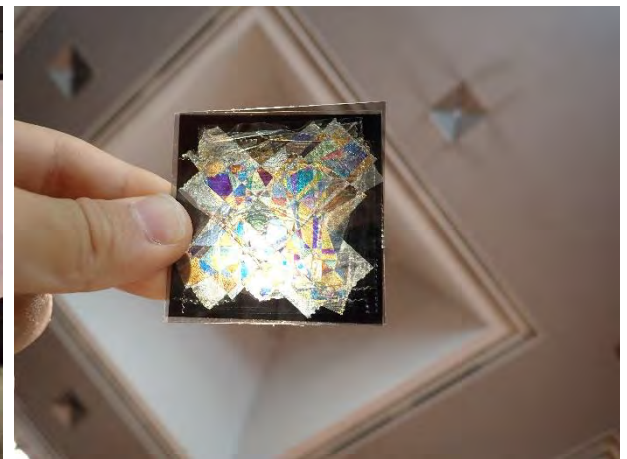
偏光ステンドグラスの工作では、色の付いていない偏光フィルム、塩ビ(塩化ビニル樹脂)の板、セロテープを重ねるだけで、鮮やかな色が付いた瞬間は来場者から歓声が聞こえ、この工作をきっかけに光や物理等に興味を持ってくれる子供たちが現れることを願っています。



スペクトルの説明



偏光ステンドグラスの工作説明



来場者が作ったステンドグラス

【量子ビーム科学部門 研究企画部(木津地区) 主幹技術員 岡田 大】

イベント紹介

青少年のための科学の祭典2019全国大会

7月27日(土)・28日(日)に東京都千代田区にある科学技術館で開催された「青少年のための科学の祭典2019全国大会」に、QSTからブース出展し、関西研木津地区の職員が説明員として参加しました。(今年は学生ボランティアの方もお手伝いをしてくださり、大活躍してくださいました！)

昨年と同様、QSTのブースには両日合わせて数百人の来場者があり、大盛況となりました。「光の体験ショー」と題して、光の3原色を用いた実験や、偏光板を使ったステンドグラス作りを来場者の皆さんに体験していただきました。

偏光板を使ったステンドグラスは、セロハンテープを透明な板に貼るだけで作ることができ、貼り方を工夫するといろいろな色や模様を作ることができるので、幅広い世代の皆さんに楽しんでいただき、「自由研究の題材にする！」と言ってくれるお子さんもいらっしゃいました。



光の3原色に関する実験ショー



偏光板を使ったステンドグラス



大盛況の様子！

【量子ビーム科学部門 研究企画部(木津地区) 細見 百】

第19回SPring-8夏の学校

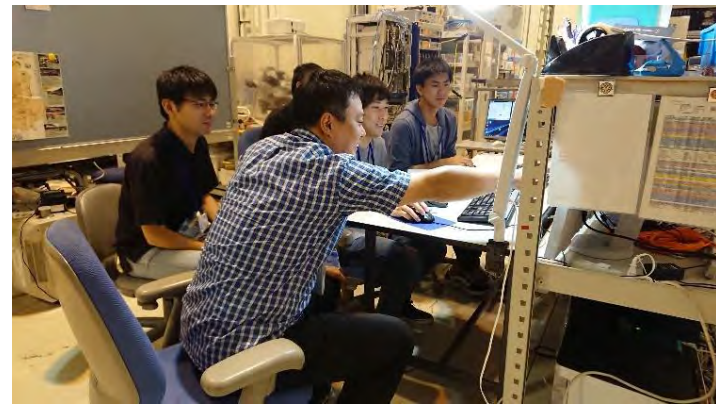
7月7日(日)～7月10日(水)の4日間の日程で、大型放射光施設SPring-8において、第19回SPring-8夏の学校が開催されました。量研放射光科学研究センター(播磨地区)は主催団体のひとつとして貢献しました。

夏の学校は、次世代の放射光利用研究者の発掘と育成を目的として、2001年より毎年開校されています。今年は91名の大学生・大学院修士課程の学生が参加して、SPring-8で講義とビームライン実習を体験しました。最初の2日間で放射光の基礎を7講座学び、後半の2日間では、21本のビームラインでの実習の内、学生たちが自ら選択した2テーマについて、各BLで指導を受けました。夏の学校では講義や実習の他にも、SPring-8・SACLAの施設見学や、懇親会や親睦を兼ねたBQ大会が企画されており、参加者相互の交流促進が積極的に行われました。今回、量研は主としてBL14B1における実習『放射光を利用した高温高压合成』を担当しました。

高温高压合成の実験では、高压合成実験の経験者からX線回折実験も全く初めての学生まで、幅広い背景を持つ学生が参加して下さいました。学生たちはお互いの知識を出し合いながら上手に連携を取り、試料づくりや放射光実験に取り組んでいました。学生たちからは、限られた時間で最大限の知識を得ようという姿勢が非常にはっきりみとれ、担当者への質問や疑問点の議論を積極的に行っていました。この経験が参加した学生さんたちの何らかの糧になることを期待します。



第19回SPring-8夏の学校参加者の全体集合
写真提供:高輝度光科学研究センター



ビームラインBL14B1での実習の様子

イベント紹介

姫路・桜山公園まつり「科学の屋台村」

7月20日(土)～21日(日)に、姫路市青山の桜山公園において、公園内の4施設(姫路科学館、星の子館、兵庫県立こどもの館、姫路市自然観察の森)が合同で「桜山公園まつり」を開催しました。桜山公園まつりは今年で22回目を迎える夏休みの恒例イベントです。姫路科学館の主催で「科学の屋台村」が開催されました。量研からもサイエンスボランティアとして5名の職員・学生が参加しました。

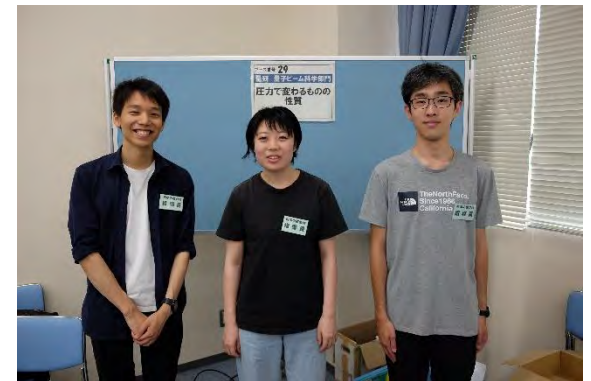
イベントの内容は、小さな子ども達から楽しめる実験、工作、劇、おはなし会、かみしばい会など盛りだくさんでした。自然にふれ、人とふれ合い、楽しい遊びと科学のおもしろさを体験できる「桜山公園まつり」で、夏休みの一日を家族でお楽しみいただきました。

姫路科学館では、屋外や館内各階で体験や工作をすることができました。お祭りのお店の屋台をイメージしたブースで40のイベントがありました。屋外では、「ブーメランを作って遊ぼう」、「アンモナイト掘り」、「守りたい播磨の絶命危惧種展」等のブース、館内では、「立体虹ボードを作ろう」、「ビーズ時計をつくってみよう」、「ビー玉万華鏡を作ろう」、「入浴剤をつくってみよう」等のブースで楽しんでいただきました。いずれも実験や体験、科学工作などを通して、科学の不思議や楽しさを体感できる充実した内容のブースでした。

量研から参加のボランティアメンバーは、「圧力で変わるものの性質」と題した実験実演を行い、子どもたちの興味合わせて説明の内容を工夫し、皆さんに科学の楽しさが伝わるように努力しました。見学してくれた子どもたちはもちろん、ご家族の方々にもとても興味を持てただけたようです。



量研の実演の様子



量研からのボランティア参加メンバー
子どもたちに科学の楽しさを伝えました。

【放射光科学研究センター 高圧・応力科学研究グループ 上席研究員 齋藤 寛之】

【開催報告】 KPSIセミナー（関西光科学研究所セミナー（公開セミナー））

第63回 KPSIセミナー

演題 プラズモン増強場を用いた固体の高次高調波発生
講演者 今坂 光太郎 氏(東京大学生産技術研究所 博士課程院生)
日時・場所 2019年7月2日(火) 13時30分～ G201, KPSI-QST
参加者 15名

第64回 KPSIセミナー

演題 赤外域における高強度数サイクル光源の開発と
一酸化窒素の超高速軟X線分光への応用
講演者 石井 順久 主幹研究員(QST関西光科学研究所)
日時・場所 2019年7月18日(木) 10時00分～ G201, KPSI-QST
参加者 19名



今坂さんのセミナー会場の様子(7月2日)
座長:板倉グループリーダー



今坂 光太郎氏(東大生研)



石井 順久 氏(QST関西光科学研究所)

※KPSIセミナー <https://www.qst.go.jp/site/kansai-topics/2788.html>

関西光科学研究所では国内外の著名な研究者・若手研究者をお招きして公開セミナーを開催しております。セミナーへの参加をご希望の方は、下記までご連絡ください。なお、参加費は無料ですが事前登録制となります。またセミナーは専門的な内容になりますことをご承知おきください。

【お問合せ先】 関西光科学研究所 担当:織茂 聡 E-mail: kizu-seminar@qst.go.jp TEL: 0774-71-3474

中赤外レーザーを用いた採血不要の非侵襲血糖値センサーの開発



指先に穿刺する採血型の自己血糖値センサー



針を刺さずに採血が不要。指で触れるだけで約5秒で血糖値を測定することができます。

レーザーの医療応用研究として、先端固体レーザーと光パラメトリック発振技術を融合することにより、手のひらサイズの非侵襲血糖値センサーの開発を行っています。

現在世界で4億人を超える糖尿病患者は、2045年には6億人を越えるると予測されています。糖尿病患者は合併症を引き起こすリスクが高く、1日に4-5回、痛みを伴いながら指先に穿刺する血糖自己測定器具を用いて、血糖値を測定しなければなりません。一方、我々が開発した血糖値センサーは採血不要、感染症廃棄物も発生しないため、患者の負担を大幅に低減できると共に、糖尿病予備群及び健常者の健康意識を高め、糖尿病の予防に役立ちます。また、連続的に血糖値測定ができれば、従来の技術では困難であった血糖値スパイクなどのトレンドを測定することが可能になり、これまでの血糖値測定概念を大きく塗り替えるものと考えています。

そしてこの技術を直接人々のために役立てるため、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構認定第1号ベンチャーとして、ライトタッチテクノロジー株式会社が2017年7月に創業しました。この血糖値センサーが実用化すると、糖尿病患者から日々の苦痛や精神的ストレスを解放し、さらに糖尿病患者の増加を抑制することによって、国内で年間約1兆2,000億円を超える糖尿病関連医療費削減につながると考え、製品化に向けてさらなる開発を進めています。

国際交流(見学受入:オランダ人学生)

【受入報告】 Study Trip Abroad Japan 2019

7月25日(木)10時～12時半、オランダからの学生・教員(合計26名)の見学受入を行いました。日本滞在プログラム(2週間)のうち、関西研訪問については半日プログラムとのことでした。

これまで、団体での学生(院生、大学生、高校生、中学生、小学生)の見学やS-cube受講はアジア諸国からが大半でしたが、初めてのオランダからの受入となりました。

欧州には多くの言語があります。事前に調べたオランダ語で「こんにちは、QST 関西光科学研究所へようこそ」と正門でお迎えし、後は英語で対応しました。

歓迎挨拶、関西研(木津地区)紹介DVD視聴、実験棟見学(一般コース)、きつづ光科学館ふおとん見学のほぼ全行程について、ジェームズ・コーガ専門業務員が英語で対応しました。参加者の中には、スペイン・サマランカ大学パルスレーザー研究所にあるVEGA laserで実験したことのある学生が1名おり、非常に専門的な質問もありました。講義や実験棟見学時だけでなく建屋間移動時にも多くの質問がありました。もうすぐ帰国とのことでしたが、東京や京都、奈良の滞在等も含め、日本を楽しんでいた様子でした。



QST関西研(木津地区)エントランスでの集合写真



QST関西研(木津地区)紹介DVD視聴



J. Koga専門業務員による講義



実験棟見学の様子



きつづ光科学館ふおとんの見学

【量子ビーム科学部門 研究企画部(木津地区) 主幹技術員 織茂 聡】

国際交流(見学受入:中国人小中学生)

【開催報告】実験棟・きつづ光科学館ふおとん 見学会

中国江蘇省の生徒(242名)が7月8日(月)から12日(金)まで5日間に分かれて関西光科学研究所(木津地区)に来所されました。中国では7月早々に夏休みに入るとのことで、小学生から中学生まで幅広い年齢の学生が参加し、当日は関西研の紹介(DVD視聴)、実験棟見学、光の3原色実験や偏光シートを利用したステンドグラス工作、きつづ光科学館ふおとん見学を実施しました。

見学中は専門用語が難しい様子ではありましたが、研究員からの説明を聞く中で熱心な質問を受けました。

また光の実験は非常に盛況であり、実験・工作を通じて光が作り出す色の不思議に関心を持ってもらえたと思います。



実験棟見学(2階一般見学コース)の様子



記念撮影(2019年7月10日の見学者 82名)



光の3原色実験・講義

【見学等お問合せ先】

関西光科学研究所 管理部 庶務課 Tel:0774-71-3012

kizu-kouhou@qst.go.jp

<https://www.qst.go.jp/site/kansai-overview/2527.html>

【管理部 庶務課、きつづ光科学館ふおとん】

第11回QST播磨セミナー

7月4日(木)にSPring-8放射光物性研究棟4階応接室において第11回QST播磨セミナーを開催しました。今回は公益財団法人高輝度光科学研究センター(JASRI)・産業利用推進室の藤原 孝将・博士研究員に「電子誘電体候補材料 YbFe_2O_4 の鉄欠損効果と放射光メスbauer回折分光の展開」と題してご講演をしていただきました。

希土類複電荷鉄層状酸化物 RFe_2O_4 ($\text{R} = \text{Lu}, \text{Yb}, \text{Y}$ 等)は W 層と呼ばれる二重鉄三角格子層に同数の Fe^{2+} と Fe^{3+} が存在し、常温で極性な秩序配置を形成しています。このため極性な電荷秩序に起源を持つ新原理の強誘電体であると提案されましたが、電荷秩序基底状態について多くの議論があり、新しい強誘電体であるかは明確ではありませんでした。

本セミナーでは、良質な結晶の合成、蛍光X線分析、X線回折、第二高調波発生、中性子回折、メスbauer分光などの一連の研究をまとめ、磁性と誘電性が結合した新しい電子相を報告することに加えて、これからの展開として結晶サイト選択的なメスbauerスペクトルを取得できる放射光メスbauer回折分光を紹介し、現在までの研究の進展と今後の展開について発表していただきました。聴講には合計10名の参加者があり、活発な質疑応答や意見交換も行われ、盛況のうちに幕を閉じました。



放射光物性研究棟での
第11回QST播磨セミナーの様子



講師(左: 藤原孝将 博士研究員/JASRI産業利用推進室)と司会者(右: 三井隆也 上席研究員)



講演中の藤原孝将 博士研究員
(JASRI産業利用推進室)

【放射光科学研究センター 磁性科学研究グループ 上席研究員 三井 隆也】



ふおとんプレ工作夏祭り開催しました



きつづ光科学館ふおとん
The Kids' Science Museum of Photons

きつづ光科学館ふおとん

ふおとん工作夏祭り

2019 JULY

7月7日-7月31日

ふおとんの7月工作いっぱい!!

一人の大人に対してお子様3人まで 申し込み時も工作参加も必ず親子でお並びください

★整理券要→期間中の工作は整理券が必要です。当日の朝、先着順にて受付致します。玄関前にお並び下さい。

★親子参加→期間中の工作は保護者同伴となります。申し込み時も必ず保護者といっしょにお並び下さい。

★1回参加→どなたさまもおひとり1日1回のみ参加となります。

7月6日(土)
七夕プラバン
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月13日(土)
マリンスーパーボール
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月14日(日)
マリンスコープ
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月15日(月祝)
マリンスコープ
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月20日(土)
花火スーパーボール
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月21日(日)
花火スーパーボール
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月25日(木)
星座表作り
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月26日(金)
星座表作り
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月27日(土)
星座表作り
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月28日(日)
星座表作り
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月31日(水)
星座表作り
10:30~11:00
11:30~12:00
小学生・中学生対象
定員10名

7月のアトラクション

土曜日	日曜日・祝日	平日
①11:10~ ①月のふしぎ	①こくま座のティオ	①ふと気になる宇宙
②14:00~ ②Gravitation	②ALMA	②宇宙
③15:40~ ③恐竜の記憶	③ブラックホールの謎	③こくま座のティオ

開催日時は受付までおたずねください。

きつづ光科学館ふおとん
The Kids' Science Museum of Photons

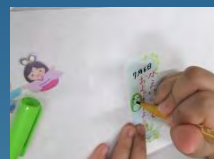
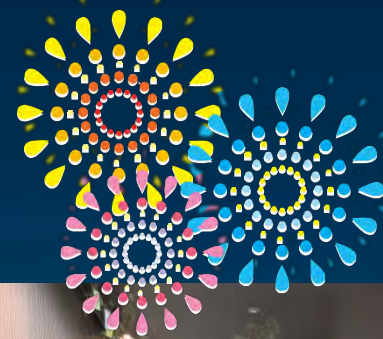
休館日のお知らせ 2019年 7月

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					

科学館ロビーに大きな七夕飾りをセットすることから始まった7月。親子工作でも、スタッフが朝採りした笹を使い、手のひらに乗るくらいの「ミニミニ七夕」を実施しました。

また、海の日にちなんだ「マリンスーパーボール」では、中に入れ込むため「本物の貝がら」を用意しました。貝がらを選ぶときから親子で楽しまれ、さらに出来上がって工作室の照明を落とすと…貝がらと一緒に入れた蓄光の星形でスーパーボールが暗闇に浮かび上がり、「わぁあ!」と喜びの声があがりました。

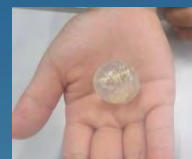
夏休みに入り、平日も賑わう毎日となりました。夏休み期間中は頼もしい臨時のスタッフも迎え、夏本番を乗り切るため、一同頑張ってます。



七夕
プラバン



ミニミニ
七夕



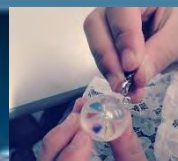
マリ
ンスーパーボール



マリ
ンスコープ



マリ
レジン



花火
スーパーボール



花火
キラキラ棒



ミニ花火
プラバン



星座表を
作るう





QST令和元年度 理事長表彰 表彰式 【7月11日(木)】

関西研からの受賞者

研究開発功績賞（特賞）「社会実装に向けた高速レーザー打音検査技術の開発」(錦野将元GL(前列左から1人目)、長谷川登主幹研究員、三上勝大研究員(転出)、北村俊幸技術員、近藤修司上席技術員、岡田大主幹技術員、河内哲哉所長)

研究開発功績賞 「宇宙線発生の仕組みを利用した陽子加速機構に関する研究」(福田祐仁上席研究員(後列右から4人目)、松井隆太郎大学院生(転出)、岸本泰明客員研究員)

研究開発功績賞 「極端紫外領域の超蛍光に関する研究」(ハリーズ ジェームズ上席研究員(後列左から3人目))

模範賞 「全国に配布する「一家に1枚 量子ビームの図鑑」ポスターの企画・制作・監修の遂行」(安居院あかね上席研究員(後列右から2人目))

人事往来

杉山 僚（すぎやま あきら）

関西研副所長

播磨地区 令和元年7月1日着任

4年の歳月を経て、QuBSに戻って参りました。忘れられていなければ、これ幸いです。播磨地区では、右も左もわからない新人です。播磨の自然に囲まれて、これから放射光を使った最先端研究開発や拠点での仕事を、初心に帰った気持ちで学びたいと思います。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。



副所長執務室にて

人事往来

田村 康志（たむら やすし）

参事

管理部 庶務課(播磨地区)

令和元年7月1日着任

この度、那珂研から関西研(播磨)に赴任しました田村です。1年程前に、関西研(木津)に勤務していましたので、関西研勤務は2度目となります。木津の時は古都を満喫したので、播磨では趣味のゴルフを満喫したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



早速、近隣のゴルフ場にて

人事往来

安居院 あかね（あぐい あかね）

上席研究員

次世代放射光施設整備開発センター

ビームライングループ本務

令和元年7月1日異動

文部科学省が2018年度科学技術週間に全国に配布した「一家に1枚 量子ビームの図鑑」の制作にあたったことから、今年度の理事長表賞を受けました。これからも「一家に1枚 量子ビームの図鑑」が量子ビームを身近に感じるツールとして利用されることを願っています。



人事往来

大久保 啓史（おおくぼ ひろし）課長

管理部 経理・契約課 令和元年7月1日採用

令和元年7月1日付で採用となりました大久保です。
前職は近畿財務局で主に国有財産の管理処分事務に携わって
いました。以前にも独立行政法人日本万国博覧会記念機構（H25年度
末に廃止し大阪府へ事業承継）に出向した経験はありますが、新し
い環境への順応速度がより遅くなっていると実感している今日この頃で
す。自分なりにベストを尽くしていきますので、皆さま、今後ともどうぞよ
ろしくお願いいたします。

人事往来

長澤 英和（ながさわ ひでかず）主査

管理部 庶務課 令和元年7月1日着任

令和元年7月1日付で配属になりました長澤
です。右も左も分からない状況でのスタートでは
たが、様々な新しい事に出会い、学びながら皆さ
まに支えられて、有意義な日々を過ごさせて頂
いております。木津では趣味の剣道はあまりする
機会がありませんが、運動不足にならないよう
に頑張ります。皆さま、どうぞよろしくお願い致し
ます。



人事往来

星野 修平（ほしの しゅうへい）

管理部 庶務課 令和元年7月1日着任

7月よりQSTに採用になりました星野です。
配属後は庶務課の仕事の幅の広さに驚き
つつも、皆様にご協力いただき楽しく仕事し
ています。出身は東京ですが、大阪市に9
年ほど暮らしていました。大阪市に比べ、
木津地区は緑が多く、鳥の鳴き声に癒さ
れます。家族と一緒にアウトドアデビュー
することが今年の目標です。今後ともどうぞ
よろしくお願いいたします。



人事往来

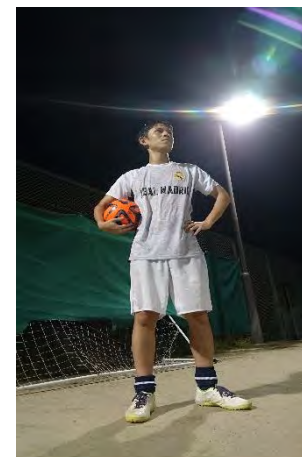
岩瀬 直樹（いわせ なおき）

管理部 庶務課

令和元年7月1日着任

QSTに採用頂いて3回目の夏を迎えました。
関西に生活拠点を置くのは初めてですが、
京都はとても暑いですね。人事業務も初
の経験になりますが、暑さに負けないぐら
いの情熱をもって仕事に励んで参りますので、
皆様どうぞよろしくお願い致します。

P.S. ここ2年、怪我に泣かされるシーズン
だったので、関西では少し落ち着きを持とう
かと思います。



人事往来

石井 順久 (いしい のぶひさ)

主幹研究員

光量子科学研究部

超高速光物性研究グループ

令和元年7月1日着任



渡部俊太郎先生と送別会での写真

前職は東京大学・物性研究所・極限コヒーレント光科学研究センター・板谷研究室の助教をしていました。2019年7月1日に超高速光物性研究グループに主幹研究員として着任いたしました。研究の専門分野としては超高速レーザー開発(光パラメトリック増幅器)とその光物性への応用です。初めての関西での暮らしに戸惑いつつ、頑張っていきたいと思っています。皆様お手柔らかにお願い申し上げます。



佐用町南光ひまわり畑

撮影:研究企画部(播磨) 福井 裕子



7月7日に第2回神河ヒルクライム大会で優勝。495人中、39分台で一番最初にゴール。2位の方といい勝負でしたが、最後の2kmで15秒の差をつくれました。神河名産のとろろやお米を副賞として頂きました。

【放射光科学研究センター コヒーレントX線利用研究グループ
上席研究員 James HARRIES】

令和改元後、はや三ヶ月、連日猛暑の夏真っ盛りとなりました。研究所の活動度も気温に負けずにグングン上昇し、今月号はイベント紹介が盛りだくさんです。研究所ですので、論文出版が最重要であることは昔も今も変わりませんが、近年では研究活動を社会にアピールすることの重要性が叫ばれ、研究所でもそれに呼応してアウトリーチ活動を盛んに行っています。(研究企画部(播磨地区))